

■松前街道沿いの円空仏
青森市油川・浄満寺(青森市指定文化財)

釈迦如来坐像



津軽の円空仏は観音菩薩坐像が多いですが、こちらは釈迦如来坐像です。鈍で大胆に削った跡が残っていること、仏が微笑んで見えることなど、円空仏の特徴を現しています。

蓬田村・正法院(青森県重宝)

観音菩薩坐像



津軽地方の円空仏のなかでも、とりわけ穏やかな笑みを湛えています。瞳と白毫にさした墨は円空自身によるものだと考えられています。

外ヶ浜町平館・福昌寺(外ヶ浜町指定文化財)

観音菩薩坐像



通称「コチョコチョ様」と呼ばれる病人が患部をさすつたためすり減ったといわれています。垢にまみれて黒光りする箇所があり、広く地元の人びとに親しまれてきたことがわかります。

外ヶ浜町三厩・義経寺(青森県重宝)

観音菩薩坐像



両肩に掛かった衣が両肘の辺りでへこみを作り出している点などが、海峡を挟んだ北海道福島町にある観音菩薩坐像と同じです。福島町の像を刻んだ直後に海峡を渡って津軽半島に至り、この像を造ったものと考えられています。

※各円空仏の拝観には、事前に申込が必要です。尚、義経寺の円空仏は秘仏であるため、33年に一度の開帳のとき以外は拝観できません。

■松前街道の見どころ

北海道新幹線の開業で注目を集める松前街道沿線の地域は、古くから「外の浜」「外が浜」などと呼ばれ、西行や藤原定家など多くの歌に詠まれていました。



龍飛の帯島



厩石

円空仏以外にも見どころが多く、景勝地「龍飛崎」や義経伝説が残る「厩石」、今別町の「高野崎」や「本覚寺」、「平館台場跡」や周辺の「松前街道松並木」、その他、幕末の思想家・吉田松陰や紀行家・菅江真澄、文豪・太宰治に関わる史跡なども点在しています。



平館台場跡



本覚寺の青銅塔婆

この機会に外ヶ浜の絶景と歴史ロマンを巡る旅をしてみたいかがでしょうか。



あomorikaiどう会議

<http://aomori-kaido.com/>

奥州街道をはじめ、その他歴史街道にまつわる青森県内の史跡を紹介、解説した地図を公開しています。

■青森円空街道コンテンツ化事業

<http://www.aomori-kaido.com/enku/>

北海道新幹線の開業へ向け、松前街道沿いなどに点在する青森県内の円空仏を調査し、情報発信ツールの制作等を行い、新たな歴史観光のコンテンツとして紹介するものです。